

各 位

上場会社名 株式会社 新潟放送
 代表者 代表取締役社長 竹石 松次
 (コード番号 9408)
 問合せ先責任者 常務取締役経営管理局长 相澤 信介
 (TEL 025-267-4111)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成20年5月23日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成21年3月期第2四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	9,750	65	83	31	5.17
今回発表予想(B)	9,812	△16	17	△37	△6.18
増減額(B-A)	62	△81	△66	△68	——
増減率(%)	0.7	—	△79.5	—	——
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成20年3月期第2四半期)	9,743	84	125	33	5.59

平成21年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	22,240	760	790	323	53.84
今回発表予想(B)	21,680	440	482	128	21.34
増減額(B-A)	△560	△320	△308	△195	——
増減率(%)	△2.5	△42.1	△39.0	△60.4	——
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	22,359	958	1,030	348	58.04

修正の理由

第2四半期累計期間の連結業績につきましては、売上高は放送事業においてラジオ、テレビともに低迷したものの、情報処理サービス事業が好調に推移したことで当初予想数値を若干上回りました。しかし、利益面では放送事業におけるテレビデジタル化に伴う減価償却費や情報処理サービス事業における外注費など売上原価が増加したことにより、平成20年8月7日に個別業績予想を下方修正した時点では概ね収まるものと予測していた第2四半期連結業績予想(平成20年5月23日付「平成20年3月期決算短信」にて公表のもの)を下回ることとなりました。

通期につきましては、放送事業におけるラジオ広告の低迷が更に深刻さを増していることに加え、大幅な落ち込みをみせているテレビ広告は、下期においても急激な回復は極めて難しい見通しとなっております。

また、当社グループでの売上比率が大きく、平成20年8月7日に個別業績予想を下方修正した時点ではほぼ順調に推移していた情報処理サービス事業におきましても、地方自治体の財政逼迫によるIT需要の落ち込みや、景気後退の影響を受けた企業等におけるシステム需要の減退傾向などにより、今後の状況は厳しいものになると思われれます。

このような見通しのなかで、当社グループは、積極的かつきめ細やかな営業活動を行うとともに、費用面におきましても一層のコストコントロールの実施により収益の確保に努めてまいりますが、経済情勢の好転が期待できない状況下で、当初の予想値の達成は困難であると判断いたしました。これにより、平成20年8月7日に個別業績予想を下方修正した時点では概ね収まると予測していた連結業績予想(平成20年5月23日付「平成20年3月期決算短信」にて公表のもの)を修正いたします。

なお、個別業績予想につきましては、平成20年8月7日付「平成21年3月期個別業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました予想数値の範囲内で概ね収まるものと見込んでおり、業績予想に変更はありません。

※上記の予想は本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以 上